

科目名		授業形態	担当教員名	
脳性麻痺Ⅱ（評価・訓練）		講義	金谷 直子・山名 由香里	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間（1 単位）		8 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
脳性麻痺児の評価や指導の実際に触れ、適切な治療・指導や支援の方法を理解することを目的とする。またAAC（拡大・代替コミュニケーション）のコミュニケーション手段の技術について講義する。				
授業の到達目標				
脳性麻痺児の認知・言語・コミュニケーションの治療・支援について、重症児の問題も含め、情報を分析し適切な指導訓練を考えることができるようになる。 脳性麻痺児の摂食・嚥下障害について診断評価・治療評価を通じ訓練目標を立案できる。 AACを使った支援について具体的な場面を想定し、日常的なコミュニケーションの支援を考えることができる。				
授業計画				
回	内容			
1	摂食・嚥下障害			(山名)
2	摂食・嚥下障害への治療、支援			(山名)
3	言語・認知・コミュニケーションへの治療、支援(姿勢制御を中心に)			(山名)
4	重症心身障害児への治療、支援			(山名)
5	AACの定義、概念を知る (1)			(金谷)
6	" (2)			(金谷)
7	AACに関する機器体験（実際の機器の操作体験、使用事例を知る）			(金谷)
8	グループディスカッション（具体的なケースを想定し、支援方法、内容について発表する）			(金谷)
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	(山名50%)(金谷50% AACの定義・概要を理解し、支援方法を列挙できる点を評価基準とする。)		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
入門コース ことばの発達と障害2 ことばの障害入門	西村辨作 編		大修館書店	
入門コース ことばの発達と障害3 ことばの障害の評価と指導	大石敬子 編		大修館書店	
標準 言語聴覚障害学 言語発達障害学 第2版	藤田郁代 監修		医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				